医師紹介



所長(医師)　　宮本　雄一（みやもと　ゆういち）

経歴	資格
自治医科大学　平成12年卒	日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
県立瀬戸田病院　内科	日本医師会認定産業医
県立広島病院　総合診療科（副部長）	協力難病指定医
県立神石三和病院　外科（副部長）	
市立恵那病院　整形外科（小児科も従事）	
浜田市国民健康保険あさひ診療所（所長）	
浜田市国民健康保険波佐診療所（所長）	
浜田市健康福祉部地域医療対策課（医療専門監）	



（医師よりあいさつ）

はじめまして、宮本　雄一（みやもと　ゆういち）と申します。
出身は広島県北広島町です。広島県から自治医科大学（地域医療を担う医師を養成する医科大学）へ進学し、卒業後9年間、北は帝釈峡のある神石高原町から南は耕三寺のある尾道市瀬戸田町（生口島）まで、あるときは内科医あるときは外科医として、外来・入院・往診など広島県内の地域医療に従事しておりました。広島で9年過ごした後、2011年3月までの2年間は、岐阜県恵那市にある病院で整形外科と小児科に従事しました。
以前から「将来は診療所で働きたい」と考えていたことから、2011年4月から隣市の浜田市の診療所で勤務し、診療所長や医療専門監として働きました。また、同市では診療所での外来診療・訪問診療だけではなく、子育て・発達の支援、就学支援、親学の啓発支援、地域医療を守る活動など様々な行政分野において医療専門職として同市のまちづくりに参画していました。そして、2020年4月より邑南町矢上診療所より総合診療医として従事しております。
わたしの診療の基本は、近江商人の「三方よし」にあやかり、患者さんだけが得をするのではなく、

「患者さんも、診療所も、地域も、みんなが及第点をつけられる、安全で良質な医療を提供すること」

です。
家庭医として邑南町の地域医療に貢献できるようがんばります。